

平成23年度川崎区区民会議第1回環境部会

日 時：平成23年6月1日（水）18時30分～20時30分

場 所：川崎区役所7階第1会議室

出席者（敬称略）

（1）委員 4人

木島千栄、秦琢二、藤岡玲子、鷺頭多加志

■開会

事務局 <会議の成立、会議開催の事前公表、会議録の開示、傍聴の遵守事項、会議の記録、広報としての写真撮影を説明、出席者の紹介>

■議題

1. 「区の花」「区の木」の制定について

（木島部会長）

それでは、お忙しいところお集まりいただき感謝の意を申し上げます。環境部会としては区の花の制定として資料1、環境意識向上ということで区にゆかりのあるものを条件に制定委員会を設置し区の花、木を制定しようということになった。全体会では、そのような内容で了承してもらったと認識している。

事務局から、資料2、3について説明していただけるということなので、お願いしたい。

（事務局）

それでは、資料2、3を見ていただきたい。全体会で承認されたので、これに沿って正式に進めていきたいと思う。花と木の制定については、環境部会とは切り離し、制定委員会を設けて検討する。

（藤岡委員）

説明の途中で申し訳ないが、区の木を決めるとということを決めた覚えはないが、いつからそのように決まったのか。環境部会では、あえて今回は木を選定せず、花の選定だけにしたと思っていた。その意味は、どうなってしまったのか。

（事務局）

環境部会では、花の制定だけだったが、それを受けて幹事会で検討され区の木も制定しようということが確認された。そして全体会に諮って異論がなかったため、承認された経過があると認識している。

(藤岡委員)

みなさん、そういう認識か。

(木島部会長)

フォーラムの時に市民の方や参与の方に区の木も決めた方が良いのではないかという意見があり、それを受けて幹事会でも、そのように検討された。そして先日の全体会に諮り了承されたと認識している。

(藤岡委員)

フォーラムでそのような意見が出されたことは認識しているが、なぜ、あえて区の花だけなのか、木についてはどうするのかは、制定委員会で検討した方が良いと思うがどうか。環境部会では、そのように検討した。

(事務局)

制定委員会には、区の木も含めて検討してほしいということだったと思う。花に特化しないで。

(木島部会長)

全体会で了承されたということによろしいか。

(藤岡委員)

納得できない。

(副区長)

今回は、環境部会では、あくまでも区の花を制定した方が良いということで、花の制定を提案している。しかし、幹事会では、花だけで良いのかという議論があり、区の木も制定した方が良いのではないかということで、全体会に諮ろうということになり、承認された。それを受けて川崎区では、区の花と木を制定しようということで、制定委員会を立ち上げるということになっている。環境部会では、区の花だけで提案をいただいたのは間違いない。

(藤岡委員)

全体会の中で、確認のプロセスがなかったので大変にわかりづらい。

(副区長)

全体会を受けて、決定は区で行っている。そこで区民会議の外につくる選考委員会という位置づけということである。

(事務局)

それでは、資料の説明をさせていただく。(資料2、3説明)

(木島部会長)

今の説明に対し、ご意見はないか。驚頭委員は、選定委員会委員はどうか。

(事務局)

海風の森では、だれか推薦されないのか。

(藤岡委員)

まだ聞いていない。人選には入っていないと思う。今年になって、いろいろと役割分担が細くなるので、正式に話をいただいてから検討に入ると思う。

(事務局)

藤岡委員がこの枠に入ることは可能性としてあるか。

(藤岡委員)

それはあまりよくないと思う。関係団体としてでも区民会議関係者から出すのはよくないと思う。私は、区民会議自体に海風の森の代表として出ているので。話を広めましょうという時期でもあるし。別の方が良いと思う。

(副区長)

このような審議会を立ち上げるときに、一つの団体から2名選出されることはあまりない。区民会議は3つ部会あるので、部会1つずつから委員を出してほしい。また、団体を兼ねている人は出ていたとしても、外の人からみれば1つの団体から2名出ているようにみられる。しかし、そういったことも委員の合意がないと難しいので検討してほしい。

(藤岡委員)

市の動きとしてそちらの方が望ましいのあれば、その方が良いと思う。疑問を持たれることは少しでも少なくしたい。

(秦委員)

委員構成の10名とは、資料にあるものが一般的か。

(事務局)

環境部会でどんな団体があるか出してもらい、それを踏まえて区で検討した。

(秦委員)

5～8番は、メンツが似たり寄ったりのような気がする。前回の環境部会でも5～8番の方が話を脱線してしまっていた。

(事務局)

今回は、有識者の方にも入っていただくので、うまく検討ができると思う。あと区役所の方からも町内会やまちづくりクラブなどへは、できるだけお花に興味があり普段から世話をしているような方を選出してほしいと依頼している。このため、そういうのに詳しい方が来ることを期待している。

(鷺頭委員)

区内の企業からの選出は良いのか。

(事務局)

今回は、普段から花に係る活動を行っている方から選出してもらいたいと思っている。

(鷺頭委員)

それでは私はやりたいと思う。

⇒環境部会からは、鷺頭委員が選定委員会委員なることが確認された。

(秦委員)

一般公募はしないのか。

(事務局)

時間的に厳しい。

2. 環境意識向上への取組について

(木島部会長)

環境部会では、テーマをきめたところであるが、環境問題啓発ポスターもひとつのテーマで、これは継続して進められているわけだが、子どもの参加が少ないということで、対象となる学校も広げるということだった。また、展示場所も課題になっており、今までの場所より広いところで展示したい。子どもがポスターを書くことによって、環境意識向上につながることに期待できる取り組みだと思うが、各地域の大型商業施設にも展示をお願いしたいと思う。学校については、区の校長会をお願いしたいと思っている。全体会では、ポスターの優秀者を子ども環境大臣に認定しようという議題が出されたが、そこで子どもが環境大臣に

認定されると負担が大きくなってしまわないかという意見が出されている。そのようなことも踏まえてポスターの取組をどのようにしていくか議論したい。

秦委員は、学校関係が長く子どもの心理はよくご存じだと思うが、ポスターを描いた子どもたちが環境大臣に任命されるということがどのような反応になるのか、ご意見をいただきたい。

(秦委員)

子ども環境大臣に任命された子どもはうれしいと思うだろうが、学校からではなく、子どもが個人的に任命されたとならないといけない。学校側からの協力はないと思う。また、子ども一人では厳しいので複数。しかし、1つの学校では1名しか選べないと思う。しかし、今の子どもは、学校を超えてコミュニケーションができるかどうか疑問。負担になるのではないか。ただ、任命するだけなら簡単だが、その後の活動を考えるとどうか。

(藤岡委員)

学校の先生が大変ということがわかるが、そうなると区役所が立ち会うのか区民会議で行うのか、その付添いの責任問題をクリアにするためには、今すぐに決めることは難しいと思う。環境大臣を決めることは、学校ごとに表彰する方法がまちまちなので、区長や副区長からの表彰するという形にして統一するなどした方が良い。子どもたちに環境意識向上の意図を伝えなければならない。今後子どもたちをどう活動に参加してもらうかは、次の段階の議論で良いと思う。

(事務局)

参考資料に今年度のポスターコンクールの資料があるので説明したい。また、部会内でも子ども環境大臣について議論が分かれているので、この報告を担当係長からしてもらいたい。

(事務局)

※参考資料1、2説明

(事務局)

表彰式を映画上映会とセミナーの前段部分でできないか検討しているところである。8月28日に教育文化会館のホールが空いているということなので、そこで調整しようと思っている。そこには環境に興味がある人がたくさん集まってくるので、そこで表彰式を行うのが良いと思う。今、県の方と調整している。そこで環境部会がやりたいことがあれば検討できると思う。またポスターの展示もそこでできると思う。

(木島部会長)

それでは、コンサルタントの方から環境意識向上のための啓発活動他都市事例を紹介してもらえるとということなのでお願いしたい。

(コンサルタント)

※資料6の説明

(鷺頭委員)

子ども環境大臣になってどうしようということよりも、任命してあげることが重要だと思う。表彰を盛大にやってあげるとか。ポスターを描くと、こんなに素晴らしいことがあると思ってもらう。そして今後は参加人数が多くなると思う。

(木島部会長)

中原区にイワサという企業があるが、そこで子どもの環境大臣を募集する企画がある。キャラクターが決まっていて、そのキャラクターにあった小学生から環境大臣になるらしい。先ほど秦委員の方から嬉し恥ずかしという意見があったが、子どもによって違う意見なのではないか。

(秦委員)

どうしても子ども環境大臣にこだわるなら、夏休みに自由研究があるが、基本的に表彰されるのは、個人なんだが、クラスでつくることもできる。ただし、参考出品。そういうところをこちらで紹介することも考えられる。そうすれば学校の先生が付き添わないといけないという問題が解決されると思う。

(木島部会長)

子ども環境大臣に任命をしないといけないというのではなく、ポスターのコンクールをして表彰する。子どもの意識向上のために行う。

(秦委員)

区民会議で決まったテーマをPTAを通じて自由研究とすることは可能だと思う。子どもから出典されるかどうかはわからないが。

(木島部会長)

先ほど大型商業施設に展示することも検討していると報告があったが。そういったところで順調に増えている状況にあり、そういう大型商業施設に展示できれば良いと思う。

(事務局)

今、小田地区にあるエспаと調整している。また、アゼリアにも今年も予約をとって展示できるようにしている。

あと今の議論に環境大臣と活動しなくても、大々的に表彰などをすれば良いのではないかという意見がでてきているがどうか。

(藤岡委員)

環境ポスターが展示の期間が終わったところに区の花の応募が始まるので、第3庁舎には、区の花のチラシを置かせてもらえると思うが、そのチラシに子ども環境大臣からコメントを書いてもらっても良いと思う。そうすれば、付添いの問題は解決される。

あと環境意識啓発の話だが、本日の参考資料にもあるように麻生区、多摩区では段ボールコンポストが盛んだが、川崎区ではマンションが多いので自分の家で、たい肥を使う機会が少ないと思う。そうであれば、今、市民健康の森では、草木が育ってきているので、たい肥が必要な状況である。そこに各戸で作ったたい肥を寄付してもらうことが良いと思う。また、直接、たい肥を持ってきてもらうことが大変な人には、市民健康の森のメンバーと相談して、回収することも考えられるし、近所にメンバーが住んでいる地区では、メンバーの家まで持ってもらうなどの対応は考えられる。そして、家でたい肥を活用される方は、これから区の花、区の木を制定するので、それを植えてくださいと呼び掛けたらどうか。このようにコンポストをクローズアップしても良いと思う。

(コンサルタント)

本日の参考資料に麻生区で活動されている団体の紹介がある。

(木島部会長)

環境部会では、環境啓発活動をテーマに審議しているが、今回の震災の関係で本来は自然エネルギーのことを審議しなくてはいけないと思うが、とりあえず、環境啓発活動、花の選定、木の選定を審議する。今後は、区の花・木をどのように活用するか検討しないといけない。

区の花・木の制定委員会は、7月の下旬に開催か。

(事務局)

6月の下旬で開催したいが、委員も全員が決まっておらず、決まったら具体的に調整するので、7月になる可能性もある。

次の部会に向けて、こんな資料をほしいといったものはないか。

(秦委員)

事例の中で、継続して行われているのか。尻つぼみになってしまうのか。

(コンサルタント)

横浜市の事例は、横浜市のエコに関わるプランに沿ってやっているなので、今も取組が行われていると思われる。地球温暖化防止センターについては、今年の10月に始まったばかりで、いろいろな活発に活動している。センター長の話を聞いたのだが、センターは川崎市全域が対象であるが、なかなか区レベルでの活動に繋がらないということである。このため、各区とつながるパイプがほしいと言っている。しかし、各区から推進委員というのを選出しているということである。

(藤岡委員)

私のところに依頼が来たが、溝の口へはなかなか行けず、活動が中途半端になるのでお断りした。

(コンサルタント)

麻生区の環境家計簿は、毎年、麻生区まちづくり市民の会が開催している。麻生区の片平地区の取組は、現在も地域で行われている。TOKYO 油田については、株式会社なので現在も企業として活動している。

(副区長)

本日お出しした事例の中でもっと深く知りたいものについては、次回に資料をお出しすることは可能である。また、地球温暖化防止センターもあります。川崎市としては環境局がやっている。環境局で環境の意識啓発について具体的にどのような取り組みをやっているか説明することはできる。また、川崎市の人口規模、人口構造と似たような都市の状況を調べることも可能である。

(秦委員)

川崎区は、下町なので、その状況にあったような事例があると良い。自転車のシェアリングは難しいと思う。乗り捨ててしまう人が多い区なので。

(鷺頭委員)

廃油を利用した石けんプラントが川崎区にあることは知らなかった。

(秦委員)

太陽光パネルの助成金はあるのか。

(副区長)

国の補助金を利用しながら川崎市でも補助を行っている。

(事務局)

あと映画の上映会の中でも意識向上に向けた取り組みができれば良いと思うので、次回に検討していただきたい。ただ、チラシの中身を早く決めたいので、大まかな内容を早く決めてほしい。

たとえば、同時開催みたいな形でやるとか、パネル展示と書いておいて中身は後で考えるとか。

(藤岡委員)

アンケートを取りたい。映画どうでしたか、ポスターはどうでしたか、という質問から始まり、区民会議で取り組んでほしい環境テーマは何かという質問を選択式で行うなど。

(事務局)

県の方でも映画に対するアンケートを実施されているので、二重アンケートになるかもしれない。

(副区長)

この映画の話も今週末ばかりなので、まだ区の中でも整理できていない。今一度、次回の部会の中で区民会議の関わり方を検討することでどうか。今、話を伺っている中では、何かやろうということだと思うが。区民会議の名前を使うとなると全体会に諮る必要があると思う。

(木島部会長)

考えられるとすれば、協力：環境部会だと思うが。

(副区長)

アンケートとポスター、表彰式の話は、次回の検討事項とさせていただきたい。

3. その他

(木島部会長)

次回の部会の日程を決めたい。

⇒7月6日(水)に開催することが確認された。

以上